

2022年9月14日
 一般社団法人日本能率協会
 産業振興センター

【報道資料】

【開催告知&取材のお願い】

全国で複数の展示会開催実績のある日本能率協会が主催

今回“初開催”となる4つの展示会や“災害リスク対策”など『まちづくり』に関する9つのビジネス展示会を同時開催！

2022年9月28日(水)・29日(木)10:00~16:00 マリンメッセ福岡 B館

一般社団法人日本能率協会(JMA、会長:中村正己)は、2022年9月28日(水)、29日(木)の2日間、マリンメッセ福岡 B館で、9つの展示会を同時開催します。

今回初開催となる4つの展示会を含む全9つの主に建設業を対象としたビジネス展示会で構成されています。今回初開催となるのが、安全で安心、環境に配慮した快適な職場づくりを支援する「騒音・振動対策展」、環境改善・資源循環展のほか、建設・インフラをテーマとした「インフラ技術産業 EXPO」、エネルギーをテーマとした「エネルギー技術革新 EXPO」の4つとなっており、業界内外から注目を集めるテクノロジーをご紹介します。

また、前回も注目を集めた災害対策の最新のソリューションを紹介する「九州 災害リスク対策推進展 2022」を引き続き開催するほか、住宅や商業施設をテーマに、今回初めて公益社団法人日本建築家協会九州支部が新しく共催として参画となる、建築・設計分野に特化した「九州ホーム&ビルディングショー」、暑さを対策製品を集めた「猛暑対策展」など、『まちづくり』に関連する展示会が一つのホールで同時開催し、計148社が出展、2日間で20本以上の無料セミナーも実施します。現在、各展公式ホームページにて来場事前登録を受付中です。

住みたい街として人気の高い福岡は、天神ビッグバンや博多コネクティッドといった大規模再開発により新たな街へと変貌しつつあります。建築・建設・労働、親和性のある各業界の展示会をシームレス(9展いづれかの来場事前登録で全ての展示会をご覧いただけます)に同時開催することで、相互に関係する産官学民のマッチングを後押しします。

テレワークやオンラインを活用した商流も盛んな昨今において、“リアルな現場”での商談や意見交換の有効性も再認識されています。本展示会では、3密を避けるためにも運営ガイドライン(検温の実施、入場の際のマスク着用義務付け、会場の消毒や換気、オンライン事前入場登録の推奨、参加者同士のソーシャルディスタンスを確保する運営など)を設け、出展者、来場者の感染拡大防止策も万全に実施します。

現在、展示会の公式ホームページ(https://www.jma.or.jp/hafp/visit/attend_kyusyu.html)にて業界関係者向けの来場者事前登録を受け付けています。なお、本展をご取材いただける報道関係者様は、取材お申込みフォーム(<https://www.jma.or.jp/press/>)からご登録をお願いいたします。



前回開催の様子

■開催概要

展示会名:「九州ホーム&ビルディングショー2022」

- ・第7回九州ホームショー
- ・第5回九州店舗・施設展
- ・第4回九州団地・マンションリノベーション総合展
- ・第4回九州住宅リフォーム EXPO
- ・第5回九州トイレ産業展
- ・第1回九州イノベーションオフィス総合展

九州ホーム & ビルディングショー
2022

共催:公益社団法人日本建築家協会九州支部

- 「第4回九州 猛暑対策展」
- 「第2回九州 労働安全衛生展」
- 「第1回九州 騒音・振動対策展」
- 「環境改善・資源循環展 2022」

第4回九州 猛暑対策展

第2回九州 労働安全衛生展

NEW! 第1回九州 騒音・振動対策展

後援(順不同):

福岡市・公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー

土木・建設業 / 製造業向け
環境改善・資源循環展 2022

- 「九州 都市開発・建設総合展 2022」
- 「九州 災害リスク対策推進展 2022」
- 「九州 インフラ技術産業 EXPO」
- 「九州 エネルギー技術革新 EXPO」

九州
都市開発・建設総合展2022

九州
災害リスク
対策推進展 2022

開催期間 :2022年9月28日(水)・29日(木)10:00~16:00

会場:マリンメッセ福岡 B館

主催:一般社団法人日本能率協会

NEW! 九州
九州の社会インフラを最新技術で支える産業展示会
インフラ技術産業EXPO

出展規模 :148社/197ブース

入場者数 :5,000名予定

NEW! 九州
“エネルギーの未来”を九州から発信する専門展示会
エネルギー技術革新EXPO

■注目の特別講演

【基調講演】『「九電グループ」がリードする 目指すべきエネルギー社会の姿』

日時:2022年9月28日(水)10:30~11:30

会場:会場 2F「主催者講演会場」

定員:100名(無料・要聴講事前登録)

講演者:九州電力株式会社 コーポレート戦略部門 部長(エネルギー戦略) 松本 一道 氏

講演概要

《世界と日本におけるエネルギー情勢について》

- ・エネルギーを巡る現在の状況(ウクライナ危機・電力需給ひっ迫)
- ・カーボンニュートラルに向けた今後のエネルギー政策

《九電グループのカーボンニュートラルに向けた取組みについて》

- ・電源の低・脱炭素に向けた取組み
- ・九州の電化率向上への貢献

《地域課題の解決の実現に向けて》

- ・地域のカーボンニュートラルの推進

《安心・安全で快適なまちづくりへの取組み》

- ・災害時の被害低減に寄与する地域レジリエンスの向上

【講演】公益社団法人日本建築家協会九州支部による講演

『～地方都市だからこそ、設計事務所×メーカーのものづくり(1)～「建築と素材」』

講演者：日本建築家協会九州支部 福岡地域会地域会長 福田 哲也

日本建築家協会九州支部 福岡地域会地域副会長 有吉 兼次

日時：2022年9月28日(水)14:10～15:00

会場：会場 2F「講演会場」

福岡はその土地柄からか、設計事務所とメーカーの距離が近い。その特色を生かして共働で多くのプロジェクトが行われている。本講演では「建築と素材」と題して、地元八女の竹でつくるすだれ(ローカル)をベースに全国の建築家とものづくりを展開する鹿田産業の仕事、ガラスという普遍素材(グローバル)をベースに福岡の建築家とものづくりを行うアサヒ製鏡の仕事を通して、建築と技術が共働する重要性を検証していく。

『2030年、省エネ法により、窓の大きい建物は建てられなくなるかもしれない』

講演者：すまい塾古川設計室 会長 古川 保

日本建築家協会九州支部長 松山 将勝

日時：2022年9月29日(木)13:00～13:50

会場：会場 2F「講演会場」

2030年までにCO2排出量46%削減を国家の目標にした。そんなことが可能なのかと傍観視する人も多いが、主流は、超高気密高断熱仕様と太陽光発電設置で可能という考えだ。どうも、この考え方を2030年に省エネ法で義務化するようだ。蒸暑地九州では、費用対効果が薄い。別に、木材のCO2固定化を推進する動きもある。木材出荷の日本1位、2位、4位は九州である。業界を挙げて九州に合った省エネ法を政策提言したい。

『～地方都市だからこそ、設計事務所×メーカーのものづくり(2)～「建築と機能」』

講演者：日本建築家協会九州支部 副支部長 佐々木 寿久

日本建築家協会九州支部 福岡地域会地域副会長 村上 明生

日時：2022年9月29日(木)14:10～15:00

会場：会場 2F「講演会場」

福岡はその土地柄からか、設計事務所とメーカーの距離が近い。その特色を生かして共働で多くのプロジェクトが行われている。本講演では「建築と機能」と題して、(株)ニシイによる防水と建築の可能性、(株)ケーワンによる空調システムと建築の可能性を提示しながら、建築と技術が共働する重要性を検証していく。

注目の企画展示！建築模型が集結「まちと建築展」同時開催！ ※入場無料

主催：公益社団法人日本建築家協会九州支部

蔓延するウィルスや、テクノロジーの進歩など、急激な社会構造の変化によって、「まち」を取り巻く環境は日々多様化しています。私たち建築家は、今まで様々な環境変化を敏感に取り込み、社会問題や課題を、それらが良くなる方向へ、建築の力を信じ作り続けてきました。あえて言えば変化を的確に読み取り柔軟に解決する事が私たちの仕事の一部だと言えます。そのような設計思想を誰もがわかりやすい、建築模型という形で表現する展覧会を開催します。



■注目出展企業

展示会名:「九州ホーム&ビルディングショー／九州ホームショー2022」



新たな床のカタチ「ROLLER STONE | ローラーストーン」。新たな壁のカタチ [ROLLER WALL | ローラーウォール]。

ローラーストーン(ブース:F-08)は、今までになかった日本初の特殊施工技術。オリジナルデザイン・安価施工・スピード施工・現状施工・強度・維持、全てを兼ね備える「特殊施工技術」となります。

展示会名:「九州ホーム&ビルディングショー／九州トイレ産業展 2022」



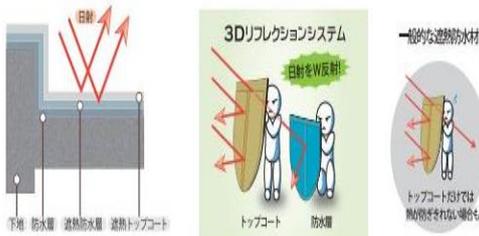
日野興業(ブース:F-07)は、仮設トイレのリーディングカンパニーとして、次世代の仮設トイレを展示します。

- ①車載トイレ「のせるくん W」
- ②シャワー・トイレユニット
- ③多目的トイレ MP-1

展示会名:「第 4 回 九州 猛暑対策展」

W反射システム (遮熱防水材+遮熱トップコート)

トップコートだけでなく、防水層とWで近赤外線をブロック。一般材に比べて遮熱効果が高く、その効果が持続します。建設技術審査証明やNETISにも登録されている独自技術です。



熱と水から建物を守る
長寿命化水性アクリルゴム防水工法

アトミクス(ブース:G-09)は、建物を雨水と日射熱から守り、長寿命化に貢献するアクリルゴム系塗膜防水工法を提案しております。業界初のW遮熱による温度低減効果にて、建物の温度上昇を抑え、猛暑対策の効果もごございます。長期的にご安心いただける提案をいたします。

展示会名:「第 2 回 九州 労働安全衛生展」

倉庫 店舗 床の傾き・段差 床下の空洞
工場 道路 業務停止時間『ゼロ』で修正

床を壊さず水平に戻す特許工法 テラテック工法

床が傾きラックや荷物が傾いていませんか？
業務を止めない床の沈下修正

メインマーク(ブース:G-10)は、倉庫や工場、店舗などの稼働を止めることなく【床の段差、傾き、床下の空洞】を修正する「テラテック工法」をご提案し、課題解決いたします。作業効率の低下を防ぎ、安全性の確保に役立ちます。

展示会名:「九州 都市開発・建設総合展 2022」



都市開発・建設分野の現場をサポートする 最先端製品

ニコン・トリンブル/水上洋行（ブース:D-10）は、業務の効率化を推進する自律四足歩行ロボット Boston Dynamics Spot+3D レーザースキャナ Trimble X7 のコラボレーション製品やMR/AR デバイス、ひび割れ検知システムなどを出展いたします。

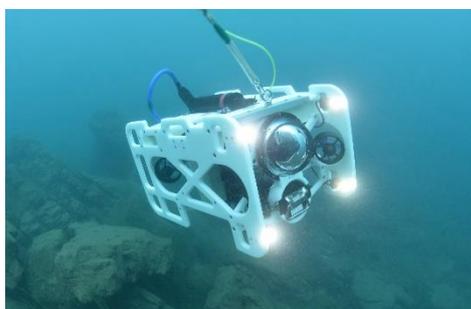
展示会名:「九州 災害リスク対策推進展 2022」



<社会貢献型>シェアする防災セット <地域貢献型>災害用備蓄スタンド BISTA

ファシル（ブース:D-08）は、「誰一人取り残さない」持続可能な防災の取り組みの普及、誰もが日常的に防災を意識できる「新しい備蓄のカタチ」をご提案します。

展示会名:「九州 インフラ技術産業 EXPO」



水中部インフラ点検の課題を解決

FullDepth（ブース:B-12）は、国産の産業用水中ドローンの実機を展示予定です。これまでアナログな手法で行われてきた水中での調査・点検業務をスマートかつ安全に行うことを可能にします。

展示会名:「九州 エネルギー技術革新 EXPO」



様々な振動を電気エネルギーに変換

金沢大学 振動発電研究室（ブース:C-04）は、磁歪振動発電技術『V-GENERATOR』とその応用製品例をご紹介します。ワイヤレスチャイムから本格的な無線センサモニタリングまで応用先はあなたのアイデア次第！この機会に V-GENERATOR を手に取って、一緒にアイデアを考えましょう。

その他出展企業および出展製品の詳細は、公式ホームページ内の「出展者検索」

<https://www.ult-thunder.jp/kyusyu-2022/ja/navi/exhibitor/search>に掲載しています。

取材申請について

取材にあたってはプレス登録が必要です。円滑な入場手続きのため、事前のプレス登録へのご協力をお願いします。

※プレス登録いただいた方には、「プレスバッジ」「会場案内図」「取材に際してのお願い」をお渡しします。

事前登録:「取材お申込みフォーム」からご登録ください。 <https://www.jma.or.jp/press/>
『事前登録いただいた際の返信メール』のプリントアウトとお名刺 2 枚をご用意の上、
「プレス受付(登録所内)」にお越しください。

※プレス登録は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web 媒体などの取材／編集／報道に関わる方が対象です。
報道機関の広告・営業部門、広告代理店、マーケティングリサーチ会社の方はご遠慮いただいております
(上記の方は、一般登録でご入場いただけます)。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

◆講演・セミナーをご取材される際のお願い

取材される場合は、対象者の了解のもと行ってください。

講演に使用された投影パワーポイント、配布資料およびテキストなどの無断転載は固くお断りいたします。

講演内容を掲載する場合は、必ず講演者に許可を得てください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【展示会に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 九州展示会事務局:田中(達)、堀内、田中(知)、山岸
〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22
TEL: 03-3434-3453

【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報・マーケティング室 担当:綿貫
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
TEL:03-3434-8620または090-6510-9161 E-mail:jmapr@jma.or.jp